

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

タコノアシ

Penthorum chinense

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. タコノアシ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Penthorum chinense*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

被子植物門 Angiospermae タコノアシ科 Penthoraceae

タコノアシ

Penthorum chinense

カテゴリー判定結果 準絶滅危惧 (NT) ②

分布域の一部において、森林伐採による生育条件の悪化が指摘されている。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

高さ 30-80 cm。葉は狭披針形～披針形もしくは狭楕円形で細鋸歯があり、長さ 6-11 cm。花は径 4-5 mm で花弁がない。多年草で、泥湿地や沼、水田、川原などの水位が変動する場所に生育する。国内では本州～奄美大島に、国外では東アジアに広く分布する。

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第4次 2019:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第4次 2018:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第4次 2017:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第4次 2015:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第4次:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第3次:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	NT
第2次:	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	VU
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

青森県[希少野生生物(C ランク)] 岩手県[B ランク] 宮城県[準絶滅危惧(NT)] 秋田県[VU]
山形県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 福島県[準絶滅危惧(NT)] 茨城県[準絶滅危惧] 栃木県[要注目]
群馬県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 埼玉県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 東京都(本土部)[区部:絶滅危惧Ⅱ類(VU) 本土部:準絶滅危惧(NT)] 東京都(北多摩)[準絶滅危惧(NT)] 東京都(南多摩)[準絶滅危惧(NT)] 東京都(西多摩)[準絶滅危惧(NT)] 新潟県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 富山県[準絶滅危惧] 石川県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 福井県[県域絶滅危惧Ⅰ類] 山梨県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 長野県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 岐阜県[絶滅危惧Ⅱ類] 静岡県[準絶滅危惧(NT)] 愛知県

[準絶滅危惧(NT)] 三重県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 京都府[絶滅寸前種] 大阪府[NT] 兵庫県[Cランク] 奈良県[絶滅危惧種] 和歌山県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 島根県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 岡山県[準絶滅危惧] 広島県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 山口県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 徳島県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 愛媛県[準絶滅危惧(NT)] 高知県[準絶滅危惧(NT)] 福岡県[絶滅危惧Ⅱ類] 長崎県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 熊本県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 大分県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 宮崎県[準絶滅危惧(NT-g)] 鹿児島県[絶滅危惧Ⅱ類]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2016. 改訂新版日本の野生植物 2. 381pp., 256pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Penthorum chinense has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Penthorum chinense* is listed as NT under criteria ②.

Judging from changes in habitat conditions, it is judged that the pressure on the survival of the species is increasing. Specifically, in part of the distribution area, one of the following trends is prominent and will further progress in the *future*.

② Habitat conditions are deteriorating.

Law designation
status for
conservation

—

執筆者: 日本植物分類学会
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月